

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	情報処理	
科目基礎情報							
科目番号	0053		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	佐藤 淳						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	プログラミングの考え方及び論理的思考を理解し、初歩的なプログラミング技術と考え方を習得する。また、実際にアプリケーションを構築する内容も取り入れ、プログラミングに対する理解力と論理的思考力を習得する。						
授業の進め方・方法							
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	プログラミングを始める	プログラミングとはどういうものか、何が出来るのかについて理解説明できる。			
		2週	初めてのプログラミング	実際に開発環境を使用して、簡単なプログラミングが理解説明できる。			
		3週	初めてのプログラミング				
		4週	プログラミングで計算するには	簡単なプログラミングを通じて、コンピュータの特性を理解説明できる。			
		5週	プログラミングで計算するには				
		6週	文章を作る	プログラムの中で、文章を加工する方法を理解説明できる。			
		7週	文章を作る				
		8週	ループを使用したプログラム	同じことを繰り返すとき、ループという方法を使用してプログラムを効率化する方法を理解説明できる。			
	2ndQ	9週	ループを使用したプログラム				
		10週	論理的思考とプログラミング	プログラミングの学習に適した題材をもとに、論理的思考との関連を理解説明できる。			
		11週	論理的思考とプログラミング				
		12週	論理的思考とプログラミング				
		13週	分岐を使用したプログラム	選択肢があるときに、選んだものによって実行するプログラムを変える方法を理解説明できる。			
		14週	分岐を使用したプログラム				
		15週	コンピュータに対する命令	コンピュータに対する命令であるステートメントとメソッドについて理解説明できる。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3		
			情報リテラシー	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3		
			情報リテラシー	インターネットの仕組みを理解し、実践的に使用できる。	3		
			情報リテラシー	情報セキュリティの必要性、様々な脅威の実態とその対策について理解できる。	3		
			情報リテラシー	個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できる。	3		
			情報リテラシー	インターネットを用いた犯罪例などを知り、それに対する正しい対処法を実践できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	20	80	0	0	0	0	100
基礎的能力	20	0	0	0	0	0	20
専門的能力	0	50	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	30	0	0	0	0	30